

憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞 No.17
2019年9月29日(日)発行(季刊)

「主は私の羊飼い。
主は私を緑の牧場に伏させ、
いこいの水のほとりに伴われます。」
(旧約聖書・詩篇23篇1～2節)

「**試練に会うとき**」 牧師・原山康伸

＜**脱出の道も備えて**>

「あなたがたの会った**試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいませぬ。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。**」

(Iコリント人への手紙10章13節)

先頃、東京オリンピック出場を目指していた池江璃花子選手が病を得て競技生活を休止すると表明し、そのコメントのなかで上記傍線の言葉を引用されました。他のアスリートたちからも、同様のことばが語られるのを耳にしました。実はこの言葉は、新約聖書に記されている主イエス・キリストの弟子パウロが、コリントの教会に宛てて書き送った手紙の一節なのです。

私たちの人生は悲喜こもごも、時に予期せぬ悲しみや苦しみの中に投げ込まれる時があります。そのようなときに自分で何とかしようと苦闘すればするほど、かえって悪循環に陥ってしまうこともありましょ。しかし、立ち止まって、私たちの命の源であるお方のもとに視点を移し替えていくときに、苦しみに耐える力が与えられ脱出の道を見出すことができるのではないのでしょうか。

＜**新しい道に**>

私たちの教会の隣接地に新設された、企業主導型保育園「ひかりキッズ」が本年9月開園し、日々保育活動が行われています。その園長であられる有田さんは、これまでご自分の保育園「ひかり園」を継続してこられました。しかし、少子化の波からやむなく閉園を決断され、新入園児の募集を停止し、責任保育を行ってこられました。



ところが、在園児の保護者であった音楽家の日比野ご夫妻が、キリスト教保育を継続する願いを起こされ、内閣府主管の企業主導型保育園「ひかりキッズ」立ち上げの道が開かれたのです。神様は思いがけなく新たな道を備えてくださいました。

8月31日の「ひかりキッズ」開所式に合わせて、その前日、教会の有志の方々が雨に濡れながら花壇の草取りをし、百株の日々草を植えてくださいました。 **行く夏の 花壇彩る 日々草**

＜**からし種のような**>

主イエスさまは、あるときこのように話されました。「**天の御国は、からし種のようなものです。それを取って、畑に蒔くと、どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。**」(マタイの福音書13章31～32節)

からし種は、吹けば飛ぶような小さな種粒です。見た目にはそのようですが、種を蒔き、時を経て気付いてみると4～5mほど見上げるばかりに枝葉を茂らせ、小鳥たちが巣を作るまでに生長するのです。天の御国すなわち神さまの御支配、神さまのみわざは、からし種のようないと小さいところを出発点として、地に根を張り生長し、時が来ると花を咲かせ実を結んでいくと言うのです。

天高し ひかりキッズの 開所式

私たちの人生において時に目当てを失い、途方に暮れ、失望の中に置かれることがあるかもしれません。そのような時は立ち止まって、今できる日常の営みを行うこと、そして聖書のことばに尋ねていくならば、思いがけない安息と脱出の道を見出すことができるのではないのでしょうか。





「今思うと」(私の信仰の原点)

教会員 小西佳子

私が小学校4年生ごろのことです。

スイカ畑のそばに林がありました。わたしはよく友達と春はピクニック、秋はキノコ採りに行きました。なぜか、そこだけ小高い丘になっていていつも太陽が当たっていたのです。道に迷ってもそこから出れば大丈夫という安心感の場所でした。

ある日、突然木が倒されて、クリーム色の鉄筋4階建ての建物が建ち始めたではありませんか。噂によると高校ができる。それもキリスト教の学校だそうだ。

4年生の私は、キリストといえばクリスマスと思っていたので、それってどういうこと？

実は3年生のクリスマスプレゼントに、おじいちゃんからレコードを貰いました。

クリスマスのお話と歌、マッチ売りの少女のお話が入っていて、「むかしユダヤのベツレヘムに・・・」とはじまる語りやクリスマスの曲、かわいそうな少女のお話に心が動かされ、物語の光景を想像しながら繰り返し何度も聴いていた大好きなレコードでした。なので、キリストの学校？ どんどころ？ ずっと気になっていたのです。

そして6年生の春、転校生が来ました。

なんと、あのキリストの学校に住んでいるというではありませんか。児童会委員で、その子の家に印刷物を届けに行くことになりました。私は、興味津々です。4～5人の友達を誘い、バスもない山道をキリストの学校？ とやらが見たくて出発しました。そして初めて足を踏み入れたのですが、いたって普通の建物でした。自分の思っていたものとは違っていました。こんな山奥にこの建物？ そして建設途中の現場、何が始まるのか？ あの時の私の驚きと疑問は今も忘れません。

夜、お布団に入りながら、それにしてもどうして東京からこんな太夫浜の山奥に引っ越してきたんだろう・・・？

その後、敬和学園に入学し、子どもの頃から心の奥に思っていたあの感情が、朝の礼拝や修養会、講師のお話、先生方とのかかわりの中で、友達との関係のなかで本当の神様を知る機会となりました。私も神様と共に生きていきたいという思いが与えられたのです。それから、いろいろな出来事や自分の心の悩みなどを通して神様の憐れみと恵みによって救いに導かれました。

あれから52年、受洗して42年が経ちます。何にもないこの太夫浜の地に敬和学園や教会、今また「ひかりキッズ」ができるなんて不思議でなりません。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。」

(伝道者の書3章11節)

《北新潟キリスト教会の集会案内(毎週)》

主日礼拝(日曜日) 午前10:30～12:00

教会学校(日曜日) 午前 9:30～10:00

聖書の学びと祈り会(水曜日) 午後7:30～9:00

聖書を読む会(木曜日) 午前10:00～11:30

ほっと会(第2火曜日) 午前 9:30～11:30

俳句同好会(第3水曜日) 午前10:00～12:00

聖句書道同好会(第4火曜日) 午前10:00～12:00



〒950-3112 新潟市北区太夫浜 2040-1
日本同盟基督教団 北新潟キリスト教会
牧師・原山康伸

TEL025(259)4491 (旧松浜教会、附属さんび園同窓会事務所)
<ホームページ> <http://www.kitaniigata-church.com>

当教会は、聖書を大切にするプロテスタント教会であり、エホバの証人(ものみの塔)や統一教会、モルモン教などとは関係がありません。安心してお出かけください。